

風間記者の話を聞いて、新聞記者はとても大変そうだけれど、有名人と会えたり、海外によく行けたりするのはいいと思いました。新聞の読み方を教わり、理解を深めることができました。小学校のときは全く新聞との関わりがなく、中学1年生になって、新聞と関わることが多くなり、新聞の読み方をある程度理解できてきていて、自分の成長を実感ました。やらかしエピソードや、嬉しかった話を聞けて、新聞記者にもこんな失敗あるんだな、嬉しいことがあれば、たしかにやりがいを感じるなと思いました。記事を毎日書いていたら、すごく語彙力が上がりそう。私はあまり文章を読んだり書いたりするのは苦手だけれど、少し興味を持てました。忙しい中来てくださって、とても嬉しかったです。

新聞記事について教えてくれてありがとうございます。新聞記事には記者による懸命な頑張りがあり、読者側は全てを読まないのを前程にして、現場に駆けつけて、それを締め切りまでに記事にしていて当たり前のように思っていた新聞のすごさが伝わりました。そして、バッハ会長の話のように英語が喋れないと記者は務まらないとは、記者はとても大変でプレッシャーに強くないと駄目なんだなと感じました。風間記者の経験がわかる面白い話でした。次、新聞を読むとき、スポーツ記事にも着目せて読んでみます。本日はありがとうございました。

新聞記者について知ることができました。新聞会社に入ってからすぐには、「スポーツ」を取り上げることができないことが分かりました。記者になると、忙しい、時差ボケがあって寝不足になってしまふことがあると分かりました。しかし、有名な方々にお会いすることができると知って、興味をもつことが、できました。しんどいこともあるけれど、好きなスポーツを取材することができるので、私だったら、野球を取材したいです。新聞を読むことで、普段の文章力が身についたり、知らない言葉を知れたり、入試に役立つことが分かりました。これからは、少しずつでも、新聞を読むようにしたいです。

まず、私が驚いたことは、新聞は何度も刷るのだということです。朝刊3回、夕刊2回とおっしゃっていたけれど、最初は、なぜ何度もするのだろうと不思議に感じていました。だけど、どんどん新しいニュースが入ってくるため、記事を載せないといけないと分かって、とても納得しました。次から次へと色々な情報が入ってくるというのは、すごく大変なことなのではないかなと考えました。それでも、その情報をもとに記事を作る「記者」という仕事は、「大変」と思っている場合はなく、「時間」と戦う「責任」が重要だということも伝わってきました。締め切りまでに記事を書き終わってしまわなければいけないことは、到底私には難しいことです。なぜなら、私は普段の授業の振り返りを書くとき、時間が足らず宿題になってしまないので、短時間でまとめるという作業が苦手だからです。でも、新聞記者という仕事に興味を持ちました。私は、時間はだめだけど、文章を考えて書くという作業は好きだからです。風間さんの嬉しい出来事で出てきた、自分の書いた記事が速報のニュースで使われるよう、自分の記事が誰かの役に立つていると分かると、すごく嬉しい気持ちがします。だからこそ、新聞記者という「やりがい」を感じられるということは、新聞記者の1つの魅力だと思います。今日教えてくださったポイントを参考に、これからも新聞を読んでいきたいと思います。今日はありがとうございました！

記者のお仕事は、私が考えていたよりも大変なんだ
なと思った。世界中を飛び回り、徹夜で仕事をして
いることや、事件などがあると取材にいかないとい
けないことを聞いたとき、こんなに大変なのに二十
五年も記者を続けているなんて、すごいなと感じ
た。この講演会で、「大変だけど、やりがいがあ
る」という気持ちは、全ての職業に共通するものだ
と気づいた。自分が将来仕事に就いたときも、こん
な気持ちになれたらいいなと思った。そして、普段
私達のもとへ正しい情報が届くのは、こういう職業
の方たちのおかげなんだと思った。改めて感謝した
い。これからは、積極的に新聞を読むようにした
い。

今日、新聞についてたくさん教えてもらうと、新聞は身近な物だけれど、いざとなってどう作られているのかを聞かれたとすると全然わからないことがほとんどで驚きました。特に新聞記者の人は大きな事件などが起きたときは夜中でも電話がかかってきて、起きて取材に行かないと行けないというのがとても大変そうだなと思いました。そして、どの新聞も全てのページが字がぎっしり書かれているので、毎日たくさんの文章を考えるという作業が一番大変そうだなと思いました。なので、新聞一枚一枚に時間をかけながら、新聞記者の人は一生懸命新聞を作ってくれているんだなと思いました。この世界にはたくさんの新聞が当たり前のようにあるけれど、それは決して当たり前ではなくて、いつも新しい新聞があるのは、毎日頑張ってくれている新聞記者の人達のおかげなんだなと思いました。これから新聞を読むときは、新聞記者の人達に感謝しながら読もうと思いました。

振り返り

今日の風間記者の講演は、普段触ることのない新聞記者の仕事について色々教えてくださりとても興味深かった。深夜の2時でもどこかで家事が起きたら電話がきて取材しないといけないことや、1日に5回ある締切に追われながら記事を書いていると知って普段、普通においている新聞にこんなにもの人たちの努力が描かれているとは知らなかつた。私は家で取っている読売中高生新聞をただザーッと目を通してだけだったけれど、今度からはどんな思いで、記者が何を伝えたいのかなどを考えながら読んでいきたいと思う。

風間記者講演振り返り

風間記者、本日は講演会を開いてください、ありがとうございました。ぼくはこの講演会で初めて知ったことがたくさんありました。例えば、朝刊、夕刊の締め切りが5回あることや深夜などにも呼ばれて現場へ行くということです。一人一人に担当するところが決まっていることは新聞記者の目標にもなったりして良いなと思いました。今回の講演会で将来、自分が役立つこともたくさんあって、とてもためになりました。ぼくは新聞記者の仕事の内容を知って、新聞記者に興味を持ちました。また、新聞の読み方を教わったので、その方法を使って読んでみたいのです。新聞には前文に一番伝えたいことが載っているというの知りませんでした。読売新聞にはスポーツの記事が多いので、いいなと思いました。